

平成24年6月22日

会員各位

美しい多摩川フォーラム事務局

平成24年度 第1回 地域経済活性化部会

◆ 6月22日(金)、美しい多摩川フォーラムの平成24年 第1回 地域経済活性化部会が開催されました。概要は下記のとおりです。

- ・開催日時：平成24年6月22日(金) 15時～16時半
- ・開催場所：立川グランドホテル 3F サンマルコ
- ・出席者：会長(部会長)、運営委員、アドバイザー、会員等

◎ 地域経済活性化部会の概要

1. 開会

2. 部会長挨拶

3. 経過報告 ※はビデオ放映

(1) 平成24年度事業計画・同予算&実施内容【資料1】

(2) 多摩川夢の桜街道：桜の札所巡り事業【資料2】

①3/24：「多摩川夢の桜街道」と語り会 ※

第1部：シンポジウム～細野助博会長、平野啓子副会長、ダニエル・カール副会長、

第2部：語り会～語り部・平野啓子副会長（調布市グリーンホール・大ホール）

②3/24～4/15：おおた さ・く・ら ういーく（スタンプラリー&ガイド付きウォーク～大田観光協会、美しい多摩川フォーラム、ほとバス）

③4/4：多摩川夢の桜街道“美しき桜心の物語”の語り会（十五番・妙法寺〈世田谷区〉～語り部・平野啓子副会長）※

④4/5：桜ウォーキングⅠ：ガイド付き桜の札所巡り（野川沿いの紅枝垂れ桜・都立武蔵野公園・都立野川公園～美しい多摩川フォーラム、リビング多摩、大谷桜守）※

⑤4/6：桜ウォーキングⅡ：第3回駅からハイキング（羽村・福生～美しい多摩川フォーラム、JR東日本、西武鉄道、多摩モノレール）※

⑥4/13：桜ウォーキングⅢ：ガイド付き桜の札所巡り（多摩森林科学園～美しい多摩川フォーラム、クラブツーリズム、大谷桜守）

⑦4/18：桜ウォーキングⅣ：ガイド付き桜の札所巡り（広徳寺・光厳寺・龍珠院～美しい多摩川フォーラム、リビング多摩、大谷桜守）

- (3) 東北・夢の桜街道：桜の札所巡り事業（東北・夢の桜街道推進協議会）【資料3】※
第1回“美しき桜心の物語”の語り会（4/21：三春滝桜～語り部・平野啓子副会長）
- (4) 平成24年度総会開催（5/27）
- (5) 東急百貨店「ココエコチャリティー」実施（5/31～6/27）【資料4】
- (6) 第40回調布市環境フェア出展（6/2）【資料5】
- (7) 第5回多摩川一斉水質調査実施（6/3）【資料6】
- (8) 多摩川“水”大学講座（5/18、6/8）【資料7】
- (9) 平成24年度「食と地域の交流促進対策事業」第1回実行委員会（6/15）【資料8】
- (10) 国土交通省国土政策局：平成24年度「官民連携主体による地域づくり
推進事業」応募（6/18）【資料9】

～以下、当面の予定～

- (11) 美しい多摩川フォーラムの森（青梅）下刈イベント（6/30）
- (12) 第2回食と文化の交流イベント（7/7：農林水産省関東農政局交付金事業）【資料10】
- (13) 多摩川っ子（第5号）発刊（7月中旬）
- (14) 狛江古代カップ第22回多摩川いかだレース参加（7/15）【資料11】
- (15) 多摩川“水”大学講座（7/20、9/21）
- (16) 第5回子どもカヤック体験教室開催（7/21）
- (17) 多摩川1万人の清掃大会参加（8/5）
- (18) 第4回炭焼き体験と水辺の交流会開催（8/17）
- (19) 平成24年度「食と地域の交流促進対策事業」第2回実行委員会（9/10）
- (20) カヤック体験教室（9/17：農林水産省関東農政局交付金事業）

4. 意見交換

- (1) 平成24年度活動計画等について【資料1】
- (2) グリーン・ツーリズムの促進について【資料8】
- (3) 夢の桜街道プランについて【資料9】【資料12】
- (4) その他

5. 部会長総括・閉会

1. 開会（初参加者紹介および資料確認）

（事務局）

定刻になりましたので、美しい多摩川フォーラム平成24年度第1回地域経済活性化部会を始めさせていただきます。本日はじめて部会にご出席される方をご紹介いたします。

(青梅市 建設部 計画調整担当 主幹 福泉 謙司 様)

福泉と申します。総会には出席させていただきましたが、部会は今日が初めてです。色々と勉強させていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

(稲城市 都市建設部 緑と建設課 課長補佐 宮澤 浩介 様)

稲城市の宮澤と申します。私どもは、公園・緑地を担当しており、現在、多摩・三浦丘陵の広域連携について話を進めています。私は4月に現在の担当になり、以前は道路建設等の仕事をしていましたので、今後は多摩川関係の広域連携について勉強させていただきたいと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。

(NPO 法人 地球野外塾 海老澤 一彦 様)

海老澤と申します。当法人は、2004年に設立され、誰もが自由に参加できる自然体験活動を続けております。設立当初から、「多摩川カヌー探検隊（旧名称：多摩川環境調査隊）」という名前で、上流の御岳から河口の羽田までを、空気で膨らませる2人艇“インフレーターブル・ボート”を利用して、4泊5日で漕ぎ下る活動をしています。今年で7回目ですが、過去2回は、多摩川の最初の一滴である水干から徒歩でスタートしていました。活動は続けているのですが、多摩川の他の団体等との連携がなく、このままだと井の中の蛙になってしまうという危機感を持ち、たまたま妻の萩野が当フォーラムを見つけてくれ、今日のご厚意に甘えてオブザーバーとして参加させていただきました。何卒よろしくお願いいたします。

(NPO 法人 地球野外塾 萩野 眞理 様)

萩野と申します。2年前、当フォーラムのホームページを拝見させていただき、活動内容の掲載をお願いしたところ、事務局で快諾してくださいました。昨年は、多摩川ではなく、中川で実施したため、ご連絡させていただく機会がなかったのですが、我々の事務所が東京にあることから、もう一度多摩川の上流から河口までカヌーで下りたいという想いで、本日、参加させていただきました。よろしくお願いいたします。

(国分寺市 都市建設部 緑と水と公園課 課長 大庭 章 様)

大庭と申します。4月からこの職を拝命しました。国分寺市には多摩川の本流は流れていませんが、支流の野川が流れており、国分寺は野川の最上流部に位置している関係もあり、今年の7月1日から「湧水及び地下水の保全に関する条例」ができます。この条例により、市民財産になり得る環境を次世代に残していけるよう努力してまいります。野川に関しては、色々な部会に参加させていただいておりますが、多摩川のほうは初めてですので、色々と勉強させていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

(読売新聞 東京本社 立川支局 阿部 新 様)

阿部と申します。本日は、お招きいただき、有り難うございます。普段は地域経済や選挙を担当することが多いので、こういった会で皆さんのお話を伺うことは大変勉強になります。どうぞよろしくお願いいたします。

(事務局)

有り難うございました。それでは、細野会長からご挨拶をお願いいたします。

2. 部会長挨拶

(細野会長)

平成24年度・第1回地域経済活性化部会を始めます。ご多用のところお集まりいただき、有り難うございます。今日も案件が盛り沢山ですので、早速始めたいと思いますが、2つだけ申し上げます。

1つ目は東北のことですが、法律等が出来つつあり、国の対応も完成度がかなり高くなってきています。しかし残念ながら、国と地方との連絡疎通というものが滞っており、被災者の皆さんは苦しい思いをしています。そういったボトルネックの問題を、いかに我々が補っていくかを考えないといけないと思います。

2つ目は、人口についてです。人口のデータを見たところ、多摩の人口減が着実に進んでいることが分かります。今年は11市町村で人口減が確認され、特に社会減が多く、若い人たちが流出しています。これは、自然減を加速させます。何とか若い人たちに多摩の魅力を感じてもらうためにも、当フォーラムの活動をより一層進めていかなければなりませんので、よろしくお願いいたします。

それでは、事務局より経過報告をお願いします。

3. 経過報告

(事務局)

はい、今年度の当フォーラムの活動につきましては、お手元の資料にて時系列でお示ししております。それでは、はじめに(2)番①、③、④、⑤、(3)番をビデオにまとめておりますので、後方のスクリーンをご覧ください。

(2) 多摩川夢の桜街道：桜の札所巡り事業

①3/24：「多摩川夢の桜街道」と語り会

③4/4：多摩川夢の桜街道“美しき桜心の物語”の語り会

④4/5：桜ウォーキングⅠ：ガイド付き桜の札所巡り(野川公園)

⑤4/6：桜ウォーキングⅡ：第3回駅からハイキング

(3) 東北・夢の桜街道：桜の札所巡り事業(東北・夢の桜街道推進協議会)

第1回“美しき桜心の物語”の語り会

— ビデオ放映 —

いかがでしたでしょうか。本日は、ビデオでご紹介した桜の札所の写真パネルをいくつか展示しておりますので、後ほどゆっくりご覧ください。

経過報告を続けます。

(2) 多摩川夢の桜街道：桜の札所巡り事業【資料2】

- ・ こちらにつきまして、今年もガイドとしてご協力をいただきました、くにたち桜守の大谷様、ご感想や補足説明がございましたらお願いします。

(大谷様)

多くの人は、桜が咲いている時には桜に関心を持ってくれますが、桜が咲いている時期は1年のうちわずか10日ほどです。他の季節にも、もっと桜に関心をもってくれれば嬉しいなと思います。

(3) 東北・夢の桜街道：桜の札所巡り事業（東北・夢の桜街道推進協議会）【資料3】 第1回“美しき桜心の物語”の語り会（4/21：三春滝桜～語り部・平野啓子副会長）

- ・ 参加されてのご感想、補足説明等、ございましたら、細野会長、よろしく願います。

(細野会長)

今、大谷さんから、桜が咲いている時ばかりではなくて、そうでない時も愛でることが大事だというお話がありましたが、三春でも同じことを言われました。桜の花だけではなく、木を見てくださいと。今年は冬が長く、イベント当日は桜がまだ咲いていませんでした。当日の様子は、東北NHKのニュースで紹介されたそうなので、これで東北とのコラボレーションが一層進むのではないかと思います。

(5) 東急百貨店「ココエコチャリティー」実施（5/31～6/27）【資料4】

- ・ 【資料4】をご覧ください。ご覧のとおり、東急百貨店ホームページのトップページに紹介されており、今年は5月31日より6月27日まで、東急百貨店本店など8店舗において、ココからはじめる身近なエコ「ココエコ・チャリティー」イベントが開催され、東急百貨店オリジナル「渋谷のしっぽ」ラバーミラーチャーム（渋谷名物のハチ公をモチーフにしたもの）が販売されています。色はピンクとブルーの二種類で、価格は200円です。本日、サンプルをお持ちしましたのでどうぞご覧くださいませ。
- ・ これは、東急百貨店のCSRの一環として企画されたもので、今年で3回目とな

ります。環境活動に積極的に取り組んでいる団体として「美しい多摩川フォーラム」に売上金の一部を寄付し、多摩川流域周辺の環境保全活動に貢献しようというものです。美しい多摩川フォーラムでは、いただいた寄付金を、「多摩川一斉水質調査」などの多摩川環境保全活動に役立てていきます。なお、期間限定販売ですので、お買い求めはお早めに！

(6) 第40回調布市環境フェア出展 (6/2)【資料5】

- ・ 【資料5】をご覧ください。美しい多摩川フォーラムでは、6月2日に開催された第40回調布市環境フェアに出展し、多摩川一斉水質調査や美しい多摩川クリーンキャンペーンなど、環境への取り組みを、調布市の皆さんに大いにPRしました。

(7) 第5回多摩川一斉水質調査実施 (6/3)【資料6】

- ・ 【資料6】をご覧ください。フォーラムが直接担当した調査地点の結果を速報としてお届けするものです。今回も、上流の山梨県丹波山村から最下流の河口の0キロポストまで多摩川水系の流域75地点の調査を実施いたしました。なお、詳細な調査結果レポートは、例年どおり11月に発刊する予定です。

(8) 多摩川“水”大学講座 (5/18、6/8)【資料7】

- ・ 【資料7】をご覧ください。これは、今年度の新規事業で、調布市共催のもと、5月18日に開講しました。講師に、小倉副会長を迎え、講座を通じて、水環境のリーダーを養成していくことをめざしたいとしています。

(9) 平成24年度「食と地域の交流促進対策事業」第1回実行委員会 (6/15)【資料8】

- ・ 【資料8】をご覧ください。平成23年度、24年度の2カ年にわたる農林水産省関東農政局の交付金事業です。具体的には、去年の3月に応募し、23年度に実施をし、24年度についても交付金の申請を行い、許可が下りました。
- ・ 24年度の活動を始めるにあたり、第1回目の実行委員会を開催しました。第2回食と文化の交流イベントは、7/7に開催する予定です。詳しい年間スケジュールは、資料をご覧ください。

(10) 国土交通省国土政策局：平成24年度「官民連携主体による地域づくり推進事業」応募 (6/18)【資料9】

- ・ 【資料9】をご覧ください。この案件は、5月28日に国土交通省国土政策局より発表されたもので、1,000万円程度の委託調査事業を、24年度中に実施することが前提となっております。募集内容をみると、美しい多摩川フォー

ラムが推進している「東北・夢の桜街道プラン」にピッタリ当てはまり、また、応募締切が6月18日と時間がなかったこともあり、急遽、細野会長と相談し、18日に何とか応募資料を提出したところです。なお、今月末には応募結果が通知される予定です。詳細については、意見交換（3）でお話したいと存じます。

～以下、当面の予定～

(11) 美しい多摩川フォーラムの森（青梅） 下刈イベント（6/30）

- ・ 青梅市立西中学生を対象に、昨年オープンイベントを開催した、美しい多摩川フォーラムの森（青梅）において、来たる6月30日に下刈イベントを開催します。

(12) 第2回食と文化の交流イベント（7/7：農林水産省関東農政局交付金事業）【資料10】

- ・ 【資料10】をご覧ください。語り部・平野副会長にご出演いただき、東北復興支援を絡めたグリーン・ツーリズムを行います。

(13) 多摩川っ子（第5号） 発刊（7月中旬）

- ・ 今回で第5号になりますが、今年も7月中旬の発行を目指して現在編集中です。夏休み前に多摩川流域の小・中学校をはじめ、教育関係者に配布し、子どもたちにご案内する予定です。

(14) 狛江古代カップ第22回多摩川いかだレース参加（7/15）【資料11】

- ・ 【資料11】をご覧ください。今年も当フォーラムよりダニエル・カール副会長、狛江市職員、フォーラム事務局が乗り込み、出艇します。皆さん、ぜひ、会場に足を運んで、応援をよろしくお願いします。

(16) 第5回子どもカヤック体験教室開催（7/21）

- ・ 今年も7月21日（土）、カヤック体験教室を、青梅市、青梅市カヌー協会と共催します。

(18) 第4回炭焼き体験と水辺の交流会開催（8/17）

- ・ 今年は8月17日（金）に青梅市と共催で開催いたします。竹炭焼き体験と水辺の安全学習を实践する、親子参加型の交流会を予定しております。経過報告は以上です。細野会長、よろしく申し上げます。

(細野会長)

事務局からの経過報告で何かご質問等がございますか。ないようでしたら、意見交換に進めます。

4. 意見交換（部会長）

(細野会長)

はじめに事務局の方から説明してください。

(1) 平成24年度活動計画等について【資料1】

(事務局)

- ・ 【資料1】をご覧ください。5月27日（日）に、当フォーラム平成24年度総会が無事終了し、会員の皆さまには、終了した報告と資料をご郵送しておりますが、簡単に説明させていただきます。
- ・ まず「平成24年度事業計画・同予算」ですが、収入の部の会費収入として1,900,000円、寄付金として青梅信用金庫様より8,000,000円、交付金として農林水産省関東農政局より2,199,000円、助成金として青梅市より287,000円となっており、前期繰越金1,708,726円を合わせて、収入合計14,094,726円となっています。
- ・ 一方、支出の部ですが、運営費として「総会」350,000円ほか合計で3,250,000円、活動費として「夢の桜街道・札所巡り事業」650,000円ほか合計で9,779,000円、次期繰越金（見込額）の1,065,726円を合わせて、支出合計14,094,726円となっています。なお、網掛けで表示している「多摩川“水”大学講座」は新規事業案件となっています。また、活動費の一番下に記載している「東北・夢の桜街道プラン」1,700,000円ですが、これは、東北復興支援事業として、東北・夢の桜街道推進協議会に拠出します。
- ・ 次に、「平成24年度事業計画の実施内容について」ですが、「経済」「環境」「教育文化」の3本柱に沿って一覧表にしています。先ほども申し上げましたが、「環境」⑦の「多摩川“水”大学講座」が新規事業となっています。
- ・ 次に、「平成24年度事業計画の趣旨説明」ですが、資料の一部を読み上げます。『こうした状況下、平成24年度につきましては、「100年プラン」で示されているコア事業、農林水産省関東農政局交付金事業（2年目、最終年度）、及び東北復興支援事業（2年目）をベースに、原案を取りまとめました。原案策定に当たっては、5年間の実践的な事業活動の成果や3つの活動部会での意見・提案等を踏まえ、以下の事業を選定しました。なお、本年度は、農水省案件や東北復興支援案件等、大型案件が重なっているため、既存事業の継続実施が基本となっております。』

- ・ 今年度の事業計画についてご意見やご質問等がございましたら、よろしくお願いいたします。

(細野会長)

平成24年度の事業計画について、事務局から資料に基づいた説明がございました。既に始まっている事業もあるようですが、何かご意見・ご質問はございますか。ないようでしたら、次に進めます。事務局の方から説明してください。

(2) グリーン・ツーリズムの促進について【資料8】

(事務局)

- ・ 【資料8】をご覧ください。先ほど少しご説明させていただきましたが、平成23年度、24年度の2カ年にわたる交付金事業で、今年度で打ち切りとなります。「食」「文化」を観光振興にあて、グリーン・ツーリズムを推進していく予定で、今年の2月28日に「第1回食と文化の交流イベント」を開催し、郷土弁当、スイーツ、語りの中間発表を行いました。今年度は、来年1月29日に「第3回食と文化の交流イベント」を開催し、郷土弁当、スイーツ、語りの完成発表を行う予定です。
- ・ 問題はその後です。2カ年の交付金事業が終わった後、作り上げた土台をどのように展開していくか、あるいはグリーン・ツーリズムをいかにして推進していけば良いのか、皆さんと議論させていただければと思います。

(細野会長)

いかがでしょうか。多摩の魅力を考えた時、「食」や「文化」は重要なアイデンティティとなります。2カ年で終わる交付金を、今後事業として継続していくために、皆さんからのアイデアをお願いいたします。地球野外塾の海老澤さん、どうですか？

(海老澤様)

私どもがやっている活動も、極めてグリーン・ツーリズムに近いものなので、その経験から申し上げます。小菅村では、無添加の野菜や加工食品が豊富です。小菅村の人たちには、野菜に農薬を使用したり、加工食品に添加物を入れるという発想そのものがないようで、非常に面白いと思いました。青梅だとわさび、丹波山では養殖のニジマス等、多摩のあちこちに点在しているのに流通力がなく、あまり市場に出回らない食べ物を、都市部の人たちが気軽にアクセスできる二子玉川の河川敷もしくは少し上流の狛江河川敷で、きちんと整備をした上でバーベキューとして食材を提供してはどうでしょうか。と同時に、奥多摩カヌーセンターや我々が連携して、子どもたちをカヌーに乗せてあげる等、中下流部での複合的な多摩川おこしを、上流部の市町村も

恩恵をこうむれるように行くと良いのではないかと思います。

(細野会長)

ただいま、良いアイデアが出されましたが、他にいかがでしょうか。

(藤井様)

今日の部会はあくまでも地域経済活性化部会ですし、会の冒頭で細野会長から「人口が減っている」とお話もありました。ではどうすれば良いのか？ある講演を聞きましたので参考までに申し上げます。富山市では、数年前まで過疎化が進んでいました。それを脱皮したきっかけは、交通網の整備でした。路面電車を郊外まで発展させ、料金均一の乗り降り自由にし、街の活性化に寄与したそうです。4月11日付の日経夕刊に載っていたのですが、「日本の場合、各私鉄毎に料金を徴収している。そのため、乗り降りすると料金が高くなる。しかしヨーロッパの大都市では、あらゆる交通機関の切符が1枚で済み、料金も安い。海外からの観光客も、地元の人も割安で利用でき、観光産業が発達していく。」多摩地区の鉄道は、東西に伸びています。西の多摩地区から都心に向けて流れています。十数年前にモノレールができましたが、予算がつかなくてなかなか循環式にできないようです。富山市のように、路面電車で繋げていけば、地域の活性化に繋がるのではないかと思います。しかしこれには時間がかかるので、現状としては、ヨーロッパの例にならい、あらゆる交通機関の切符を1枚で、しかも割安で購入できれば、観光客を呼び込むことができ、地域が活性化するのではないかと思います。ちなみに、路面電車は各地で見直されています。

(細野会長)

富山のLRTの話題が出るとは思いませんでした。他にいかがでしょうか。堤さん、ご意見があればどうぞ。

(堤様)

事業の内容を見ていると、対象者の年齢層が高いような気がしますが、事業を継続していくには、対象者を明確にしていく必要があります。今は“テスト・マーケット”の期間だと思うので、この時期に、もっと広い年齢層の方でトライアルしても良いのではと思います。

(細野会長)

今までの議論を私なりにまとめます。①多摩川上流部には様々な食材があり、それを人が集まりやすい中下流地域で披露する必要がある。②アクセスも大事なので、なるべく安く周遊できる工夫が必要。③四季を通じて継続できる工夫が必要。

まだ時間がございますので、他にアイデアのある方はどうぞ。

(馬淵様)

この事業は2年間ということですが、平成25年度以降は再度交付金を受けることはできないのですか？

(事務局)

先週、ニュースでも報じられましたが、今年度限りで打ち切りとなりました。

(馬淵様)

それは残念です。であれば、フォーラムの予算を割り振って事業を持続可能なものにしていければと思います。

(細野会長)

皆さんご承知のように、「仕分け」があり、初期の仕分けでは、お役人たちは反対していたので、ほとぼりが冷めれば復活する場合もありました。しかし今回は各省内での「仕分け」だったので、なかなか復活は望めません。今おっしゃっていたように、ある程度ビジネス化することにより、収益を半分出してフォーラムからも補助金を出す工夫が必要かもしれません。ほかにいかがでしょうか。ないようですので、次に進めます。事務局の方から説明をお願いします。

(3) 夢の桜街道プランについて【資料9】【資料12】

(事務局)

- ・ 来年度の東北復興支援につきまして、多摩川フォーラムから1,700,000円を拠出することになりました。これだけでは事業運営をまかなえないので、他の企業の寄付金等も開拓しなければならないと思っていた矢先、5月28日に国土交通省から『平成24年度官民連携主体による地域づくり推進事業』を公募するが、応募しないか」とお話がありました。前回は東北に絞られた案件でしたが、今回は全国の地域づくりが対象なので、当選するかは分かりませんが、6月末には決定する予定です。決定した場合を想定した資料が【資料9】となっています。
- ・ 予算規模は、9,500,000円で想定しており、「東北・夢の桜街道～桜の札所・八十八カ所巡り」として、3本柱で推進していこうと思っています。1つ目は、東北・夢の桜街道推進協議会として、「第2回“美しき桜心の物語”の語り会」を実施します。第1回目は、被害の一番ひどかった福島県でしたが、第2回目は、次に被害の大きかった宮城県で行います。場所は、宮城県塩竈市にある鹽竈神社です。この神社は、全国の鹽竈神社の総本社で、国の天然記念物に指定されている鹽竈桜があります。この神社の拝殿前で開催できれば最高でしたが、他の行事の関係で、大講堂

を用意していただきました。塩竈市と共催で開催する予定です。平野さんの桜の「語り」と、地域を元気にするような「語り」をミックスした語り会を実施したいと考えています。

- 2本目の柱は、桜の札所に近い信金の支店もしくは出張所を窓口とし、そこと観光協会や市町村が連携して、地域の桜を育て、盛りたてていく、「しんきん桜守制度」（仮称）を導入し、桜の季節が近づいたら、地元の子どもたちによる絵や作文のコンクールを開催するなど、地域として愛着を持てるようなイベントを実施してほしいと考えています。
- 3本目は、交通機関・旅行会社による「東北・夢の桜街道」のツアー商品を開発していただきます。昨年度は、はとバス様、JTB様、クラブツーリズム様で商品を造成、販売していただきました。残念ながらJR東日本様については、昨年度は雑誌「トランヴェール」に大特集していただくことに留まりましたが、今年度からは、「惜しみなく協力をしたい」という話をいただいておりますので、盛り上がり期待できるのではないかと考えています。
- こういう3本柱を実施する中で、お金としてどういう事業で支援していくかをご説明します。
 - ①東北復興支援プログラム（25年2月実施）
東北の知事さんや信金協会、我々フォーラム・メンバーで盛り上げていきたいと考えています。
 - ②東北観光物産展&桜街道パネル展（25年2月実施）
昨年度は新宿駅西口イベント広場で2日間にわたり桜街道パネル展を実施しましたが、今年度はさらに付加価値を付け、東北の観光協会、市町村、企業にご出展いただき、観光物産展を同時開催したいと考えています。
 - ③しんきん桜守事業（25年2月までに実施）
先ほど申し上げた内容にプラスし、記念スタンプを作成して桜守となる信金や市町村、観光協会に設置し、スタンプ帳も制作して日本人の好むスタンプラリーを行います。併せて、「ここは何番札所なのか」が分かるように、看板も設置する予定です。これが実現すれば、創造的な観光産業として、良い出発ができると思います。
 - ④後援信用金庫全店&連携先でのポスター掲示（25年1月～5月上旬実施）
全国には271信用金庫（7,584店舗）あり、その店頭でポスターを約4ヵ月間掲示してもらい、PR活動をしていきたいと考えています。昨年度は116金庫で実施しましたが、掲示したポスターが好評で、「ほしい」という問い合わせも何件ございました。
- 震災から1年以上が経ち、残念ながら記憶の風化が始まっています。我々の力で何とか風化を防止し、この運動を盛り上げて、国民運動にしていきたいと考えて

います。

(細野会長)

宮坂さんから熱の入った説明がございました。東北では、復興特需も一部ではありましたが、ほとんどの産業は復興できていませんし、生活再建もできていません。また、西日本と東日本の温度差もあります。そのため、全国の信用金庫でポスターを掲示することは、とても大事なことだと思います。この件で、ご意見やご質問はございますか。ないようでしたら、その他をお願いします。

(3) その他

(事務局)

今日、オブザーバーでご参加いただいている NPO 特定非営利法人 地球野外塾の海老澤様から手短にご説明をお願いいたします。

(海老澤様)

「多摩川カヌー探検隊」は、今年で7回目になります。青梅市御岳から大田区羽田までの約84kmをカヌーで下る4泊5日のイベントです。5回目までは「多摩川環境調査隊」という名称で、途中7ヵ所でガサガサや水質検査を行っていましたが、活動の内容が分かりにくいという理由で、分かりやすいネーミングに変更しました。多摩川の上流から河口まで下りたいと思うのは、物好きな年間十数人しかいないと思いますが、その半数が我々スタッフだと思います。

多摩川は身近な存在ではありますが、多くの人にとって橋を横断するだけ、見るだけの川になっています。また、水の事故が発生すると、行政は子どもたちを川に近付けないようにしがちです。そんな多摩川の実情を、上流から下流へと縦に繋げることにより、また、初心者でも気軽に本格的なカヌーのキャンプに参加できるようにすることで、意識の変化を促したいと思っています。しかし、集客の面において苦勞しており、皆さんにご支援、ご理解、ご協力をお願いしたいと思っています。

(細野会長)

いま、遅れて日本経済新聞社の友山様がお越しになりましたので、ご挨拶をお願いいたします。

(日本経済新聞社 多摩支局 友山様)

この4月に関西から多摩に赴任したばかりで、多摩のことを何も分かっていませんが、趣味がバイクなので、奥多摩は走りに行っています。奥多摩は、紀伊半島にある、熊野古道に良く似ていると思います。しかしもったいないと思うのは、熊野古道は世

界遺産に指定されたからかもしれませんが、いたる所に看板があり、ホスピタリティが溢れています。奥多摩にも色々な古い道等があるはずなのに、何の表示もなく、果たして観光客を歓迎してくれているのかと気になります。食べ物も、できれば奥多摩のものを食べたいのに、余り“のぼり”が立っていません。決してクレームを付けている訳ではなく、「もったいない」と思うだけです。これだけの資産があり、関西に比べてこれだけの人口があるので、高いポテンシャルを生かしてもらいたいと思います。

5. 部会長総括・閉会（部会長）

（細野会長）

時間となりました。これにて平成24年度第1回地域経済活性化部会を終了いたします。友山様からのお話にもありましたように、私たちももう少しPRしないといけないのかもしれません。住んでいる人たちが多摩を誇りに思えるような運動体になければならないと改めて感じました。本日は有り難うございました。

以 上